

奈良県ユニセフ協会会長
奈良新聞社代表取締役

甘利治夫さん



7年にわたって続くシリア危機、バングラディッシュに逃れたロヒンギャ難民をはじめ、世界には紛争で心身ともに傷つき、様々な困難に直面する子どもたちが多くいます。

ユニセフは現在、最も支援を必要としている子どもたちとその家族に、支援を続けるための緊急募金を行っています。

戦禍の中、今を生きる子どもたちに 私たちは何ができるのか

アメリカのトランプ大統領と北朝鮮の金正恩委員長による歴史的といわれた米朝会談でしたが、目新しい成果もなく肩透かしを食ったような思いをした人も多かったのではないのでしょうか。予想通りとする識者もいるが、緊張感が和らいだことは確かです。

隣国・北朝鮮による核開発、ミサイルの実験は、日本にとって大きな脅威でもありました。ましてや射程距離が米国まで届くとすれば、アメリカも黙っておられず、首脳会談につながりました。会談で本当のところどのような話し合いがされたかは分かりません。トランプ大統領の自信に満ちた発言から、よい方向に向かっていると期待するしかありません。

戦争の悲惨さを伝えるのが私たちの務め

戦後73年が過ぎ、戦争体験者はごく少数になりました。戦後のベビーブーム世代も一線から退き、70歳になりました。戦争とは何か、

戦争の悲惨さをどう伝えていくのが、今生きている私たちの務めでもあると思います。

父や母たちが体験した戦争は、書物や記録、映像、写真、そして古老たちの話でしか知ることができません。実際に前線で戦った人

たち、銃後で空襲を体験した人たちの話のなかに、想像することもできない重さを感じます。

とくに無差別の空襲の恐ろしさは想像を絶するものがあります。見上げる青い空に、爆撃機が連なって飛んできて、本当に焼夷弾を落としたのです。そんな時代が本当にあったことを忘れてしまっている、平和ボケともいわれる姿が今の日本です。

■ 今なお続く戦禍、私たちに何ができるのか

だから北朝鮮によるミサイル発射の恐怖は、一気に緊張させました。核の威力は広島や長崎の比ではないという。どこにも逃げるすべもないことを知れば、北朝鮮の脅威は日本全体の脅威ともなりました。米朝首脳会談への期待が、どの国よりも高かったことはいうまでもありません。それだけに会談の結果に不満が残りますが、これを第一歩として次に進まなくてはなりません。平和のために粘り強い努力が必要です。

73年もの間、戦争とは無縁に過ごしてきた日本ですが、今なお世界の各地で戦禍は続いています。兵器の質も格段と進歩し、より悲惨な状況となっています。戦禍のなかで子どもたちがどのような目にあっているかと思うと、自身の無力さに情けない気持ちになります。

■ ユニセフ活動に共感してもらえたらと願うばかり

いつかではなく、今を生きる子どもたちに何ができるかを、教えてくれたのがユニセフの活動です。テレビで放映されるユニセフのCMが訴えかけるものに、一人でもいいから共感してもらえたらと願うばかりです。平和な国に住む私たちが、平和の大切さを一番よく知っているのではないのでしょうか。



コックスバザールの配布センターで支援物資の列に並ぶ何千人ものロヒンギャの子どもたち。

募金協力(学校・その他団体) 2018年1月~6月 ご支援ありがとうございました!

奈良県協会お取り扱い分(敬称略) 本部への直接振込分を除く

- 浄教寺子ども会、浄教寺定例会、天理大学自治会
- ガールスカウト奈良県連盟、三碓小学校、佐保川小学校6年3組
- 国際ソプロチミスト奈良-まほろば、たけまるホール
- 奈良中学生サッカーフェスティバル実行委員会
- 佐保ゴルフクラブカード・メンバーズゴルフクラブ 参加者、佐保商事
- 登美ヶ丘高校吹奏楽部、THE KASHIHARA、大淀桜ヶ丘小学校
- 立正佼成会奈良教会、大阪商業大学企業交流会

学校内募金等の贈呈式にお伺いいたします。ご連絡ください。



7年以上にわたって続くシリア危機。国境沿いに仮設テントを設置する、グラアから逃れてきた家族。

2018年1月～6月 活動報告

2018年3月 日本通運の協力のもと 外国コイン募金 145kgを 日本ユニセフ協会へ送りました

3月26日、奈良県ユニセフ協会は、昨年12月から今年3月までに協会に寄せられた外国コイン145kgを、日本通運奈良支社の協力のもと、日本ユニセフ協会へ搬送しました。



県ユニセフ協会では、市民の方々から直接に、また毎日新聞を通じて届けられるほか、県内の多くのお寺や神社にも外国コイン募金にご協力していただいています。毎年、寄せられる外国コインは1年間で150～200kgにも及びます。

近年、外国人観光客が増えて、神社・仏閣で外国コインのお賽銭が増えていますが、外国コインを日本円に換金することができず、苦慮されておられる神社仏閣がたくさんありました。



日本通運で外国コインの重さを計量

10数年前、協会の会報で「ユニセフ外国コイン募金」へのご協力をお願いしたところ、橿原神宮からお賽銭に入っていた外国コインを寄付していただきました。その後、東大寺、興福寺、春日大社を始め多くの寺社からも毎年のように外国コイン募金にご協力をいただいています。

外国コインの募金方法

- ・直接、奈良県ユニセフ協会事務所に持っていく
- ・郵送または宅配便で奈良県ユニセフ協会に送る
(送り先) 〒630-8301 奈良市高畑町1116-6
なら土連会館2階 奈良県ユニセフ協会

※より詳しい内容は事務所までお問い合わせください。

TEL 0742-25-3005

あなたの机の中にもきっと眠っているはず。
ユニセフ外国コイン募金にご協力ください！

外国コイン募金とは

旅行や出張で海外に行ったことがある方なら、残ったコインや紙幣が必ずあるはず！一部の国の紙幣を除けば、外国通貨は日本では両替することができません。記念品やおみやげにするのも楽しいですが、余ったコインを世界の子どもたちのために役立ててみてはいかがでしょうか。

日本ユニセフ協会では民間企業5社の協力をいただき、こうしたコインを海外に輸送することでユニセフの活動資金にする「ユニセフ外国コイン募金」を行っています。

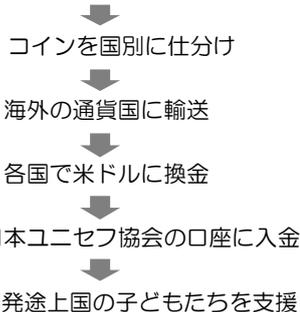
(2017年の換金額は日本円で約6,700万円になりました)



あなたの身近に、
眠っている外国コイン
ありませんか？

外国コインの募金の流れ

寄せられた外国コインは日本ユニセフ協会へ送られて



ユニセフ外国コイン実行委員会

ユニセフ外国コイン募金は、日本ユニセフ協会と以下の5社の全面的な協力のもと実施されています。

三井住友銀行・日本航空・日本通運・毎日新聞社・JTB

予告です

開催のお知らせ

ユニセフ・パネル展

「ユニセフによる戦後日本の子どもたちへの支援」

期間 2018年10月10日(水)～10月21日(日)

会場 奈良県図書情報館 <セミナールーム前>

ご存知ですか？あの頃の日本

ユニセフは、第二次世界大戦後の昭和24年から15年間にわたり、日本の子どもたちの健康、福祉を推進するための支援を続けました。



ユニセフ・ラブ・ウォーク

「町家のかかし巡り」と「キトラ古墳」

開催日 2018年10月21日(日) 9:45～12:30

コース 近鉄 壺阪山駅⇒土佐街道⇒キトラ古墳

約200体の“かかし”が出迎えてくれます！

参加費(大人500円、子ども300円)がユニセフを通じて世界の子どもたちの支援になります。皆さまのご参加をお待ちします。



学校紹介(ユニークな活動への取り組みを紹介します)

県立登美ヶ丘高校(奈良市) 吹奏楽部

定期演奏会でユニセフ募金を呼びかけ!

第27回定期演奏会 「我、登美高」

2018年4月22日 奈良県文化会館国際ホール

4月22日の日曜日、奈良県文化会館で開催された県立登美ヶ丘高校吹奏楽部第27回定期演奏会の会場で、同校吹奏楽部員によるユニセフ募金への呼びかけが行われました。



演奏会の今年のテーマは「平和」。

第27回定期演奏会「我、登美高」 2年前の全国高校総合文化祭で広島を訪れたことがきっかけでした。

『世界では栄養不良によって一日、8,000人以上の幼い命が奪われています。私たちと同じ年齢の子や、それよりも小さい子が生死をさまよっていたり、まともな教育を受けられなかったりしているので力になりたいと思い、今回ユニセフ募金に参加することにしました。(略)そして世界で実際に、内戦や自然災害で苦しんでいる子どもたちのための募金活動をすることで、平和に貢献することができればと思っています。(第27回定期演奏会プログラムから抜粋)』

会場ロビーには世界の子どもの現状を紹介する手作りのポスターが貼られ、生徒たちが募金箱を持ってユニセフ募金への協力をお願いしました。

平和への想いを込めた「ラッキードラゴン〜第五福竜丸の記憶〜」を始めとする、11年連続で奈良県吹奏楽部コンクール金賞受賞のクオリティの高い演奏と、語りあり、合唱ありの工夫を凝らした取り組みは、ファンや在校生、卒業生ら1,100人の聴く人の心に深い印象を与えていました。



ロビーに貼られた手作りのポスター

ユニセフ講演会のお知らせ

講演会「カンボジアの理科教育支援の取り組み」

〈奈良教育大学共催公開講座〉

講師 森本弘一 奈良教育大学 教授

開催日 2018年10月10日(水)
13:00~15:00

会場 奈良教育大学 講義室 102 教室



2000年から取り組んでいる、カンボジアでの生物教育を中心とした理科教育支援の様子を紹介します。

あなたの思いを「ユニセフ支援ギフト」として子どもたちにお届けします

ユニセフ支援ギフトとは、ユニセフの支援物資を選んで、途上国の子どもたちに贈る支援方法です。

「はしかワクチン」のほか「経口ポリオワクチン」「浄水剤」「フランピーナッツ」「毛布」などのユニセフ支援物資をご指定いただくと、ユニセフがあなたに代わって子どもたちにお届けします。

あなたの思いを支援ギフトとして子どもたちに贈りませんか。事務所までお問い合わせください。

はしかワクチン
予防接種を受けることができれば、失われる命の数を確実に減らせます。
(16種のギフトの1つ)

1セット 80回分 ¥3,600



御所市立御所小学校 児童保健委員会

毎年 使用済み切手を回収!
PTAにも協力をお願いします



御所小学校(御所市)から今年もたくさんの使用済み切手が県ユニセフ協会に届きました。御所小学校から毎年3月に使用済み切手が送られてくるようになって今年で6回目です。

使用済み切手の回収は、5・6年生12名の児童保健委員会のメンバーが中心となって取り組みます。保健委員会の活動の1つとして行っているのは、集まった切手が換金されて募金となり、ワクチンや栄養食となって世界の子どもの「命を守る」のに役立つからです。

全校朝礼や校内放送で、そして手づくりのポスターと回収袋を教室、職員室や保健室に掲示して、協力を呼びかけます。また、PTAの広報誌で保護者の方々にもお願いします。

活動は5月にスタート。協力を呼びかけるとともに回収袋を校内に設置し、袋に集まった使用済み切手が翌2月に回収されユニセフに届けられます。

回収の呼びかけは、同校の保健指導で活躍するキャラクター“きなこばあちゃん”も一役買っています。児童、先生、PTAの皆さんを含め、全校を挙げての取り組みとなっています。



回収袋を校内に設置。
“きなこばあちゃん”が協力を呼びかけます。

ボランティア募集

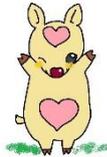
奈良県ユニセフ協会では、下記の活動を手伝っていただけるボランティアを募集しています。

学生の方も大歓迎です。

世界の子どもたちの現状、ユニセフやボランティア活動に関心をお持ちの方、私たちと一緒に楽しく活動を始めませんか。

お気軽に事務所までお問い合わせください。

- ◆ 募金活動
- ◆ イベント参加
- ◆ ユニセフ学習会講師
- ◆ 機関紙発行
- ◆ 事務所でのお手伝い



賛助会員募集

日本ユニセフ協会の趣旨に賛同して下さる会員を募集しています。

賛助会員とは、日本ユニセフ協会と奈良県ユニセフ協会の運営を、年会費によってご支援いただく方法です。

種類	対象	賛助会費	賛助会員期間
一般賛助会員	個人の方	1口5千円	入会月～1年間
学生賛助会員	18歳以上の学生の方	1口2千円	入会月～1年間
団体賛助会員	団体・法人・企業	1口10万円	入会月～1年間

- *一般・学生賛助会員は、個人名でのお申し込みに限ります。
- *賛助会費は寄付金控除の対象になります。
- *会員期間は入会月から一年毎の更新となります。
- *賛助会費は、1口以上何口でもご協力いただけます。

出前学習会のご案内

— 出前学習会を行いませんか —

奈良県ユニセフ協会ではスタッフが学校を訪問して学習を行う、出前学習(講師派遣)を行っています。

映像や体験などを取り入れ、「今、世界でどんなことが起きているのか」「世界の子どもたちはどんな生活をしているのか」を学びます。



(事務所までお問い合わせください。)

蚊帳つりを体験

DVD教材の貸し出しも行っています

出前学習会の進め方

- ① 出前学習会の打ち合わせ (約1か月前)
日程調整、プログラム、配布資料
体験学習(水がめ運び、蚊帳つり等)
- ② 会場・教室の下見 (約1週間前)
プロジェクター等の作動・映写確認
- ③ 出前学習会の開催 (当日)

編集後記

米国と北朝鮮首脳が世界の注目を集め会見が行われましたが、北朝鮮の非核化や体制維持問題等、明確な内容が示されないまま、会談の長期化と形骸化が懸念されています。

また各地で地球環境の変化による災害や地震発生のほか、紛争による被害や避難民の拡大等が報告され、深刻な現状を伝えています。

ユニセフでは、いつも最初に被害を被る子どもたちの現状を知っていただき、充実したご支援の必要性を訴え、講演会・出前学習・写真パネル展・イベント等の機会をとらえ、広くご理解とご協力をお願いしております。

今後とも皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。(M.K.)



* 鹿のイラストはすべて、ボランティア大西好美さんの作品です。



奈良県ユニセフ協会

〒630-8301

奈良県奈良市高畑町 1116-6 なら土連会館2階

TEL : 0742-25-3005 / FAX : 0742-25-3008

E-mail : unicef-n@m4.kcn.ne.jp

ホームページ : <http://www.unicef-nara.jp/>

※事務所開所日: 月・火・水・木 11:00~16:00

募金して頂ける方、ユニセフDVD等の資料をご入用の方、ユニセフ支援ギフトにご協力いただける方など、お気軽にお越しください。

2018年1月に事務所を移転しました

